

# 修正案及び 修正部分を除く原案

# 全会一致可決

第1回定例会 会期令和4年2月25日から3月25日（29日間）

## 「子ども未来館」 総務常任委員会が修正案を作成・提出

岩水 豊総務常任委員長からの報告（一部抜粋）

総務常任委員会に付託された議案第33号令和4年度一般会計予算について、審査の過程で、子ども未来館検討委員会の内容について検討委員会設置要綱の設置目的について説明を求めましたが、理念的な説明であり、具体的な構想が見えないため、子ども未来館検討委員会出会謝礼22万4000円を減額する修正案を提出すべきとの意見があり、委員会として修正案を作成しました。

本案についての討論では、修正案に賛成の討論があり、同設置要綱の第1条（設置）に、施設についての調査及び検討と記載されており、建物という意味している。子ども未来館の方向性が議会に説明がなされない。子育て世代からすれば、施設ではなくソフト事業を望む。教育委員会社会教育課と協議もされていないとして、修正案に賛成するとの意見がありました。

■本案の原案に対する賛成討論  
なし

■本案の原案に対する反対討論  
山田 義盛議員

子ども未来館に対する説明・内容に不足を感じているので原案に反対する。

■本案の修正案に対する賛成討論  
重久 昌樹議員

本市の令和4年度の施政方針においては、「本市の財源は自主財源に乏しく、国・県補助金や地方交付税に依存し、本市の財政状況は一段と厳しくなるものと思われる。」との説明があった。本市にお

ては本庁舎増築、大隅・財部支所庁舎の建設、南九州畜産獣医学拠点施設事業、あるいは給食センター建設事業など多くの箱物建設事業が予定されている。「子ども未来館」ということから、建物の建設等が想定される。  
子ども未来館に関する具体的な説明が乏しく、新築をするにしても、あるいは既存の建物を改築して利用するにしても多額の建築費用が予想されることろである。現段階において十分な検討が必要であると思ひ、修正案に賛成する。

徳峰 一成議員

子ども未来館の要綱、委員長報告、質疑を踏まえて、市としてはやはり準備不足であった。委員会審議でも十分に担当課が答えられない。実態を踏まえ周到な準備の上で提案すべきであるという意味で削除した修正案に賛成である。

渡辺 利治議員

子どものためには、決して無駄な投資ではないと思うが、現状を考えると時期尚早である。中央一体型の施設・施策になってしまひ、街を離れた地方はどんどん置いてきぼりを食うような状況で、このような施策があつてはならない。  
全てが平等でないといけなひと痛感している。よつてこの予算については、修正案に賛成である。

■本案の修正案に対する反対討論  
なし

(万円)

会計名		予算額	前年比
一般会計		259億8,977	△ 8億8,522
特別会計	国民健康保険	56億2,121	△ 2,114
	後期高齢者医療	6億5,095	3,146
	介護保険	59億5,960	1億769
	生活排水処理事業	6,837	△ 4,442
	水道事業会計	収益的支出予定額	5億6,518
	資本的支出予定額	4億2,479	6,514
公共下水道事業	収益的支出予定額	1億9,851	△ 3,146
	資本的支出予定額	1億2,139	416

# 令和4年度当初予算

## 一般会計予算 259億8,977万円

総務常任委員会

### 南九州畜産獣医学拠点事業 (令和3年度からの繰越明許費含む)

#### 21億3,069万円



- 問** 令和4年度完了が原則であるが、可能か。  
**答** 計画的な工事発注により完成させる。

### 古民家再生活活用モデル提案事業

#### 700万円



- 問** 建物の老朽化が進み、雨漏りや土台の腐食が進んでいるが、今後の対応は。  
**答** 事業提案者と十分な協議により対応したい。  
**意見** 事業の見直しを含め検討しなければならない課題が多いのでは。

### 本庁舎改築工事完了後のワンストップ窓口対応

#### 1,516万円

- 問** 本庁舎改築工事完了後のワンストップ窓口の強化のための本庁舎窓口の体制は。  
**答** 会計年度任用職員を5人増員し、サービス向上に努める。  
**問** 両支所の体制と本庁舎の窓口対応に大きな開きがあるのでは。  
**答** 財部支所では地域振興課を1階に配置するので、以前より対応が改善される。また、10月開庁に併せて小規模水道事業は、水道課に移管する。

### 財部支所庁舎建設予定地 (基本計画策定業務委託料等)

#### 551万円



### 大隅支所庁舎及び中央公民館建設予定地 (用地取得費等)

#### 1億612万円



- 問** 財部支所の図書館を取壊し建設するが、図書館をどこに移転するのか。  
**答** 検討中である。  
**意見** 図書館利用者の事を考えて、取壊し前に移転等を含め協議を行うよう求める。  
**問** 庁舎建設後の駐車場のスペースは。  
**答** 財部支所庁舎は、きらめきセンターの駐車場と併せて316台、大隅支所庁舎は、現庁舎の解体後のスペースを含めると442台であり、大隅文化会館周辺では312台になる。  
**意見** 本庁舎増築部分の完成後は、両支所の職員数が大幅に減るので大隅支所の用地取得は必要最低限にする必要がある。  
**問** 合併特例債の借入可能額は。  
**答** 令和4年度当初予算後は、残り約16億3,000万円になる。  
**意見** 大型工事の入札契約については、適正な参加業者数を確保すること。さらに議会の議決が必要な案件については、議会で十分な審査ができるよう入札日等の対応を要望する。



## 小学校のあり方検討委員会



5月下旬に委員会を設置し、6月から5回程度委員会を開催して小学校の現状や児童数の推移、学校規模、現地調査等を行って、今後の教育委員会としての学校のあり方に関する基本方針等を決定したいとの説明があった。また、これまでのスクールバスのあり方や運行についての質疑に対し、現在のやり方を踏襲して出来るだけ民間委託の方向で検討したいとの答弁があった。

**意見** 学校の統廃合が進み少子化や児童数減少の推移もあることから、現状と今後の状況について議論する場を設け、方向性や方針を決めておく必要があるのではないか。

## 学校給食助成事業

2,697万円



**問** 小・中学校の月額給食費は。

**答** 令和4年度の給食費は未定であるが、令和3年度の月額給食費は小学校が4,200円・中学校が4,600円で、これまで月額1,200円の一律補助であった。令和4年度は小学校を月額1,400円の補助、中学校を月額1,600円の補助に引き上げる。

## PCR検査補助金

100万円

1/2補助から2/3の補助とし、上限が1万5,000円に改正されます。

**問** 全額補助すべきとした経緯があるのに、全額補助にしなかったのはなぜか。

**答** 近隣市町を調査した結果、全額補助は既に県が実施している。これまでに補助をした方との不平等感もある。また、医療機関によって検査料に差があるため全額補助としなかった。



今後のPCR検査についてはこちらをご確認ください。  
鹿児島県のホームページにリンクしています。

## 生活困窮者自立相談支援事業

1,529万円

**問** 生活困窮者自立相談支援事業について伺う。

**答** 生活保護に至る前の生活困窮者への支援を新年度から社会福祉協議会に委託する。

**問** 丸投げをしたら実態がつかめなくなる心配がある。検証が必要ではないか。

**答** 今後は、支援調整会議を行い、市としても加わっていききたい。

## 地域医療支援費

5,523万円

**問** 救急医療体制・救急搬送の状況はどうなっているか。

**答** 医師の常駐体制については、曾於郡医師会立病院が8人、都城市郡医師会病院が29人である。救急搬送の状況は、令和元年7月に末吉に松岡救急クリニック分院が開院してから曾於郡医師会立病院への搬送が減少している。年間300人前後が松岡救急クリニック分院に救急搬送されている。

第12回全国和牛能力共進会負担金

426万円



ほうび号

**意見** 令和4年度は5年に1度の和牛のオリンピックといわれる全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催される年となる。前大会のように、日本一の獲得に努めてほしい。

※前大会の宮城県大会では、曾於市から末吉町・森岡徳幸さん所有の「ほうび」号が第3区（若雌の2）に出品され、優等賞5席（32頭中5位）という素晴らしい成績を残されています。

溝ノ口洞穴整備事業

599万円



溝ノ口洞穴が国指定の天然記念物となったことを機に、来場者が増加しているため、利便性を図るために溝ノ口洞穴周辺の整備に取り組みますとの説明があった。

**問** どのような整備をするのか。

**答** 洞穴遊歩道の改修や案内看板の設置・誘導柵の設置などの整備である。

畑地帯総合整備事業曾於北部地区

3億2,217万円



**問** 事業の実施状況は。

**答** 大隅南地区で県営畑地かんがい水利事業を実施中であり、給水栓設置及び散水機具の導入推進を図っていく。

市道整備事業

7億5,346万円



**問** 市道の改良率は。

**答** 改良率が68.7%であり、県内市町村の平均とほぼ同一水準の状況にある。厳しい財政状況ではあるが、辺地・過疎対策事業など市財政にとって有利な起債事業と補助事業等を活用したい。また、市民のニーズと地域の実情にあった安心安全な暮らしを支える道路網の確保と側溝や流末排水路についても災害防止の観点から機能強化を図るため整備を進める。



# 特別会計予算 可決

## 曾於市介護保険特別会計予算

**賛成多数 可決**

**問** 令和4年度の予算編成では、令和3年度は給付費が0.53%程度の伸びであるが、令和4年度は2%の給付費の伸びで計上した理由と、保険料総額は。

**答** コロナの影響で実績が見えない中、令和3年度からの計画（第8期介護保険事業計画）の中で1.86%の伸びを見込んでいたことから2%の給付費として計上した。保険料総額については8億6,862万3,000円で、被保険者数は1万4,200人である。

**問** 新規事業の移動支援型訪問サービスとは。

**答** 現在、要介護者への送迎サービスは整備されている。一方、在宅で生活が続けられるようサービスを受けている要支援者等への送迎サービスは整備されていなかったため、新たにサービスを開始するものである。

## 曾於市水道事業会計予算

**全会一致 可決**

**問** 建設改良費の工事内容は。

**答** 末吉地区上水道整備の高松浄水場整備工事が主なものであり、高松水源地の水質には鉄分・マンガンが基準値より多く含まれ、濁度も基準値を超えているので、除去するために急速ろ過装置を2基設置する予定である。

## 曾於市公共下水道事業会計予算

**全会一致 可決**

**問** 令和4年度の業務予定量は。

**答** 接続戸数1,738戸の予定となっており、接続率は70%を超えたところであるが、引続き施設の維持管理及び下水道加入促進に努める。

## 曾於市生活排水処理事業特別会計予算

**全会一致 可決**

**問** 今後の合併浄化槽の譲渡はどうか。

**答** 令和4年度は平成14年度に設置した85基について譲渡手続を進め、令和13年度までの10年間で計画的に譲渡処分していく。

## 曾於市国民健康保険特別会計予算

**全会一致 可決**

**問** 令和4年度の予算編成方針は。

**答** コロナの影響で病院の受診控えが見られ、受診者数が減少し、給付費も1.7%減少しているが、感染者数が減少傾向となれば受診者数が伸びる傾向が見られるため、これまでの実績を元に編成をすることが難しく、前年度並みの給付費をベースに予算編成した。

**問** 歳計外繰入金2億5,000万円を繰り入れなかった場合の被保険者の負担額は。

**答** 繰入金がある場合は平均額で1人当たり年7万2,445円に対して、歳計外繰入金がない場合は9万8,914円になる。

## 曾於市後期高齢者医療特別会計予算

**賛成多数 可決**

**問** 県全体の後期高齢者医療費の伸びは。

**答** 令和2年度で0.25%、令和3年度で1.02%上昇している。主な要因は被保険者の増に伴い、保険給付費が増加している。

**問** 被保険者の保険料の平均額は。

**答** 年6万5,365円である。

## 専決処分の承認

**承認案第1号** **全会一致 可決**

令和3年度曾於市一般会計

補正予算(第10号)

10億3810万円追加

補正後予算

総額 301億6893万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯、住民税非課税世帯等に対する支援事業の実施に伴うもので、歳入については、国庫支出金で子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金を、歳出については、住民税非課税世帯等臨時特別給付金をそれぞれ追加するものが主なものです。

## 計画の策定

**議案第1号** **全会一致 可決**

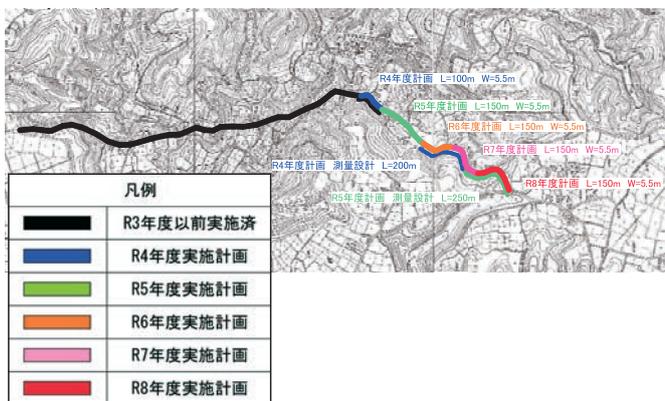
辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定

大隅町市吉辺地の総合整備計画を策定することについて、議会の議決を求めるものです。現在策定している総合整備計画が令和3年度末で計画期

間を終了することから、今回新たに令和4年度から令和8年度までの5カ年の総合整備計画を策定するものです。事業内容は、地域内の市道笠木・かんじん松線の改良舗装を延長700m、事業費は8100万円として計画しています。

**問** 工事期間中の思いやりタクシーの運行はどうなるのか。  
**答** 工事期間中は、利用者に配慮しながら迂回路を設ける。

## 辺地対策事業 笠木・かんじん松線 改良舗装工事



## 条例制定

**議案第2号** **全会一致 可決**

曾於市地域振興住宅譲渡条例の制定

地域振興住宅の譲渡を受けようとする希望者へ当該住宅の敷地及び附帯設備も併せて譲渡することに関し、必要な事項を定めるため制定されるものです。

## 条例の一部改正

**議案第5号** **全会一致 可決**

曾於市特別職の職員の給与に関する条例及び曾於市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部改正

令和3年8月10日の人事院勧告は、月例給については、民間給与との較差が小さいことから据え置くこととし、ボーナスについては、民間との均衡を図るために引き下げるとの内容でしたが、長引く新型コロナウイルス感染症による景気低迷への影響を懸念

し、令和3年中の適用は見送られ、国は、令和4年2月1日の閣議において、特別職の国家公務員の給与について、一般職の国家公務員の給与と改定に準じ、令和4年6月支給分から、令和3年人事院勧告どおりの措置を適用することと決定しました。本市においてもこれに倣い、期末手当等の改定を行うものです。

**議案第6号** **全会一致 可決**

曾於市職員の諸給与に関する条例の一部改正

令和3年人事院勧告に伴い、一般職の職員の期末手当の支給割合を改定するものです。

**議案第7号** **全会一致 可決**

曾於市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

人事院の国家公務員に係る妊娠、出産、育児等と仕事の両立支援のために講じる措置について関連する規定を改正するため、条例の一部を改正するものです。



**議案第8号** **全会一致 可決**

曾於市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正

消防団員の報酬等の基準の策定等について消防庁長官通知及び消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律により、関連する規定を改正するため、条例の一部を改正するものです。

**問** 近隣市町との違いはないか。

**答** 出動報酬は、時間当たり1000円であり同じである。



**議案第10号** **全会一致 可決**

曾於市定住促進住宅用地分譲条例の一部改正

民法の一部を改正する法律により、成年となる年齢が20歳から18歳に引下げられることに伴い、本条例における住宅用地の契約者に係る年齢要

件を改正するものです。

**議案第11号** **全会一致 可決**

曾於市国民健康保険税条例の一部改正

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令が公布されたことに伴い、関連する規定を改正するものです。内容としては、国民健康保険税については、未就学児に係る被保険者均等割額の1/2を軽減するものです。

**問** 改正による影響額は。

**答** 合計202人で206万8000円の減税になる。

**議案第12号** **全会一致 可決**

曾於市出産祝金支給条例の一部改正

現在、少子化対策の1つとして、第3子以降の出産に対して子供1人につき10万円を支給していますが、乳児用品等の購入に係る負担を少しでも軽減できるよう、第1子及

び第2子の出産に対して、子供1人につき1万円を支給するため改正するものです。

**問** 改正の決定過程について伺う。

**答** 副市長以下11人で構成される人口減少対策委員会の暮らし子育て専門部会から提案されたものである。

**意見** 1万円では支給額が少ない。人口増対策や少子化対策になるのか疑問である。



**議案第23号** **全会一致 可決**

機構改革に伴う総務常任委員会所管の関係条例の整理に関する条例の制定

委員会所管の関係条例の整理に関する条例の制定

**議案第25号** **全会一致 可決**

機構改革に伴う建設経済常任委員会所管の関係条例の整理に関する条例の制定

以上3議案は、本庁・支所機能再編計画に伴い、主に総務常任委員会、文教厚生常任委員会及び建設経済常任委員会所管の関係条例に規定する所管課名を改正するものです。

**補正予算**

**議案第26号**

令和3年度曾於市一般会計

補正予算第(11号)

14億7802万円追加

補正後予算

総額 316億4695万円

歳入は、交付額の確定による地方交付税及び国の補正予算に伴う国庫支出金の追加や実績見込みによる寄附金、財源調整による財政調整基金繰

**議案第24号** **全会一致 可決**

機構改革に伴う文教厚生常任

入金の減額が主なものです。歳出は、事業費の確定及び執行見込みによるものや新型コロナウイルス感染症による各種事業の中止等に伴う減額、南九州畜産獣医学拠点事業や繰上償還に伴う公債費の追加が主なものです。

### 総務常任委員会

(岩水豊委員長)

#### 【企業版ふるさと納税寄附金】

**問** 企業版ふるさと納税をした企業が、その事業の入札に参加できるか。

**答** 入札に参加することは問題ないことを確認している。

#### 【南九州畜産獣医学拠点事業】

**問** 令和4年度中の完了が前提であるが、工程はどのようになるのか。

**答** 計画的に工事を行うことで完了できる。

#### 意見 地元畜産農家を中心にメ

リットのある施設・運営を望む。

**問** 施設整備について女子学生への配慮等、大学と十分協

議を行ったか。

**答** 大学と協議を行い設計に取り入れている。

#### 意見 南九州畜産獣医学拠点

事業の予算執行にあたっては、次のことについて強く要請する意見を付すことに決定しました。

- (1) 全体事業実施計画並びに財源計画を早期に確定し示すこと。
- (2) 魅力ある施設になるように、2次診療等を考慮し整備すること。
- (3) 運営主体の設立を早急に行い、明確な運営方法等を示すこと。
- (4) 関係機関との協議・調整等で重要な事項は、議会に報告すること。
- (5) 事業概要や進捗状況については、適宜、議会並びに市民へ説明すること。

#### 文教厚生常任委員会

(上村龍生委員長)

【新型コロナウイルス感染症対策事業】

**問** PCR検査費の執行残について。

**答** 当初10000人を見込んでいたが148人の申請となった。検査料は医療機関で差があり1回2万5000円から1万3600円で、市の補助金は半額となっているが2万円を超える検査料は上限が1万円補助である。県が無料でPCR検査を実施しており、ホームページや広報等で周知を行い、問い合わせがあった方は、そちらを案内していたこともあり、市への申請者数が減少したのではないか。

**意見** PCR検査は全額補助すべきである。

#### 【岩川小学校改築事業】

**問** 継続費の増額補正の内容は。

**答** 岩川小学校解体工事について国の法律が改正され、壁の中に含まれるアスベストも除去しなければならなくなったことから6143万9000円を追加するものである。

#### 【GIGAスクール運営支援センター業務委託料】

**問** 繰越明許費の補正の内容は。

**答** 校内で全員が一斉にタブレットを使用すると繋がりにくい状況が出たり、アプリが動かなくなったり不具合が出ることもあるため、委託して改善点等の報告を受けるものである。

**問** タブレット端末の持ち帰りや管理状況は。

**答** 今後は基本的に持ち帰れるようにしていきたい。教育委員会が定めたセキュリティポリシーに基づいた使用の徹底と、児童・生徒が何を検索したかがわかるようになっていくファイルリングソフトも導入している。

#### 建設経済常任委員会

(九日克典委員長)

#### 【農業委員会費】

農業委員・農地利用最適化推進委員において、農地集約・農地集積としての利用と農地パトロール等での業務効率を



図るため、22台のタブレットを導入すると説明がありました。

【地域商品券発行事業】

プレミアム無商品券の年度末需要が多いため、500万円の増額補正であるとの説明がありました。

【メセナ住吉交流センター管理費】

メセナ住吉交流センターが新型コロナウイルス感染症の影響で大幅な売上減になったため、歳入で指定管理納付金200万円を皆減し、歳出では指定管理料として新たに900万円を計上した。基本協定・年度協定により協議の申し入れがあり、協議の結果対応をすることになったとの説明がありました。

【畑地帯総合整備事業】

問 分担金の減額の理由は、大隅南地区においては、県がパイプラインの整備を優先しているため散水器具の導入がなかった。散水器具の

ニーズはあるので農家への要望調査を県工事担当及び畑かんセンター普及担当と共に推進している。

【特殊地下壕対策補助金】

問 補助金の減額の理由は、

答 調査を進めるなかで、当初の想定より地下壕が埋まっている状態であったため、減額することになった。地下であり全てを把握できるわけではないが、現在、人家に直接的な影響は少ない。



西竹山地区の地下壕

発議

3月定例会では、議員から提出された議案（発議案）5件が可決されました。

発議番号	件名	提出先等	提案理由
発議1号	曾於市議会会議規則の一部改正について	-	議場システムの改修に伴い、電子表決システムが導入されたため、現行規則の一部を改正するものです。
発議2号	ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議案	-	本市議会は、ロシアによるウクライナへの侵略に断固抗議するとともに、ロシア軍の撤退を強く求めるため、決議するものです。
発議3号	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書案	内閣総理大臣	平成8年7月20日に施行された「海の日」は平成15年以降7月の第3月曜日となっています。国民が海の大切さを理解し、その恩恵に感謝し、海の安全および環境保全について思いを馳せる機会とするために「海の日」を7月20日に固定化することを要望する意見書を提出するものです。
発議4号	医療費助成制度の現物給付を求める意見書案	鹿児島県知事	子ども医療費の窓口負担無料（現物給付）は、未就学児から高校生までが新たな対象となっていますが、現在の窓口負担無料は住民税非課税世帯が対象となっており、住民税課税世帯は償還払いとなっています。また、重度心身障がい者医療及びひとり親家庭医療の医療費助成制度も償還払い方式であるため、費用負担が大きく必要に応じた医療を安心して十分に活用できない事象が生じています。こうした現状は、償還払いによって実際には必要な医療が受けられない課題を抱えており、県において住民の健康増進及び傷病の早期発見・早期治療による重症化予防のため、所得制限なく、医療費の現物給付化を早期に実現するよう要請するものです。
発議5号	医療費助成制度の現物給付に伴う国庫負担金減額措置の廃止を求める意見書案	衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 財務大臣 総務大臣	国は地方単独医療費助成制度の現物給付化が医療費の増大をもたらす要因であるとし、それを抑制するため、現物給付を導入している自治体に対し、国民健康保険の国庫負担金を減額する措置を講じています。このことは、国が本来果たすべきセーフティーネットを担う地方自治体の努力や独自性を阻害するものであることから、地方単独医療費助成制度の重要性や必要性に鑑み、医療費助成制度の現物給付を行う国庫負担金の減額措置を廃止し、安心して医療を受けられる制度の構築を強く切望することから関係機関に意見書を提出するものです。

# 全会一致で可決した議案

区分	議案番号	件名
承認案	第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度曾於市一般会計補正予算（第10号））
議案	第1号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
	第2号	曾於市地域振興住宅譲渡条例の制定について
	第3号	曾於市中央公民館の設置及び管理に関する条例の制定について
	第4号	曾於市地区公民館の設置及び管理に関する条例の制定について
	第5号	曾於市特別職の職員の給与に関する条例及び曾於市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の支給に関する条例の一部改正について
	第6号	曾於市職員の諸給与に関する条例の一部改正について
	第7号	曾於市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
	第8号	曾於市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について
	第9号	曾於市個人情報保護条例の一部改正について
	第10号	曾於市定住促進住宅用地分譲条例の一部改正について
	第11号	曾於市国民健康保険税条例の一部改正について
	第12号	曾於市出産祝金支給条例の一部改正について
	第13号	曾於市営住宅条例の一部改正について
	第14号	曾於市地域振興住宅条例の一部改正について
	第15号	曾於市小学校及び中学校の設置並びに管理に関する条例の一部改正について
	第16号	曾於市立学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
	第17号	曾於市教職員住宅条例の一部改正について
	第18号	曾於市地区集会施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
	第19号	曾於市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
	第20号	曾於市末吉農村地域活性化定住促進対策事業に関する条例の廃止について
	第21号	大隅都市計画事業八合原土地区画整理事業施行に関する条例の廃止について

区分	議案番号	件名	
議案	第22号	末吉都市計画事業上町土地区画整理事業施行に関する条例の廃止について	
	第23号	機構改革に伴う総務常任委員会所管の関係条例の整理に関する条例の制定について	
	第24号	機構改革に伴う文教厚生常任委員会所管の関係条例の整理に関する条例の制定について	
	第25号	機構改革に伴う建設経済常任委員会所管の関係条例の整理に関する条例の制定について	
	第26号	令和3年度曾於市一般会計補正予算（第11号）について	
	第27号	令和3年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	
	第28号	令和3年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について	
	第29号	令和3年度曾於市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	
	第30号	令和3年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算（第3号）について	
	第31号	令和3年度曾於市水道事業会計補正予算（第5号）について	
	第32号	令和3年度曾於市公共下水道事業会計補正予算（第3号）について	
	第33号	令和4年度曾於市一般会計予算について（修正部分を除く原案） 令和4年度曾於市一般会計予算について（修正案）	
	第34号	令和4年度曾於市国民健康保険特別会計予算について	
	第37号	令和4年度曾於市生活排水処理事業特別会計予算について	
	第38号	令和4年度曾於市水道事業会計予算について	
	第39号	令和4年度曾於市公共下水道事業会計予算について	
	発議	第1号	曾於市議会会議規則の一部改正について
		第2号	ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議案
		第4号	医療費助成制度の現物給付を求める意見書案
第5号		医療費助成制度の現物給付に伴う国庫負担金減額措置の廃止を求める意見書案	

## 私はこう判断しました

### 議決結果一覧

久長議員は議長のため、表決には参加しない。  
賛成「○」。賛成者のみを踏る表決方法であるため、賛成者以外（反対者・態度保留者・棄権者等）は「●」としている。

議案	議員名	山中 雅人	出水 優樹	瀬戸 恵理	矢上 弘幸	片田 洋志	重久 昌樹	鈴木 栄一	上村 龍生	岩水 昌昭	淵合 昌信	今鶴 治典	九日 克典	土屋 健一	原田 賢一郎	山田 義盛	大川 内富男	渡辺 利治	迫杉 杉雄	徳峰 一成	結果	
議案 第35号	令和4年度曾於市後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
議案 第36号	令和4年度曾於市介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
発議 第3号	国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決



## 議会改革調査特別委員会の設置

議会改革調査特別委員会を令和4年3月25日に設置しました。

議員定数の削減や市長選挙・市議会議員選挙の同日選挙実施等について調査・検討するものです。委員は議長を除く19名です。

委員長 今鶴 治信  
副委員長 原田 賢一郎



## 議会報告会の中止のお知らせ



今年度の「議会報告会」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から『中止』させていただくこととしました。  
市民の皆様の安心安全な生活と健康を守るために、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 新型コロナウイルス感染症対策に伴う 議会傍聴へのご協力をお願い

新型コロナウイルス感染症対策に伴い、感染拡大防止の観点から本会議の傍聴にお越しの際は、入室時に手指消毒及びマスクの着用にご協力ください。（風邪の症状や身体に不調がある場合は入室をご遠慮ください。）

また、開会中は本庁1階ロビーのテレビモニターでも本会議の実況を視聴できます。ぜひご利用ください。



本庁1階ロビーのテレビモニター

曾於市議会では定例会や臨時会の様子をインターネットによる  
**ライブ中継**や**録画放送**を行っています。

曾於市ホームページより『議会映像配信』をクリックしてください。  
※アドレス <https://www.city.soo.kagoshima.jp/> 曾於市ホームページ➡

